

就学支援シート①【保護者記入用】

1 お子さんの名前・保護者氏名

| | | | | | |
|-----|-------------------------|--|---|----|----------------|
| 保護者 | フリガナ | 記入例 | | | |
| | お子さんの名前 | | | | |
| | お子さんの生年月日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |
| | 保護者氏名 | | | 続柄 | |
| | 保護者連絡先(電話) | 入学予定の区立小学校名または都立特別支援学校名を記入してください。通級指導学級に通う場合は、あわせて学校名をご記入ください。 特別支援教室(すまいるルーム)を利用の場合は、在籍する学校で利用することになりますので、利用の有無に丸をつけてください。 | | | |
| | お子さんの入学予定の学校 | | | | |
| | 通級(難聴・言語・弱視)を利用する場合の学校名 | | | | |
| | 特別支援教室(すまいるルーム)利用の有無 | | | | 有・無(丸をつけてください) |

2 就学前に利用していたところや、これから利用予定のところ(幼稚園・保育園、総合福祉センターなど療育機関、医療機関、教育相談室、区総合支所など)(※学校除)

| 関係機関 | 担当者 | 連絡先 | 内容 |
|------------------------|-------|-----------|------------------------|
| 〇〇幼稚園／保育園 | □□ □□ | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 | — |
| 総合福祉センター | ◆◆ ◆◆ | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 | 個別指導による療育 (3歳6ヶ月から) |
| □□病院 | ▲▲ ▲▲ | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 | ◎◎治療(3歳から) |
| 発達障害相談・療育センター 〔げんき〕 | ☆☆ ☆☆ | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 | グループによる療育 (4歳5ヶ月から) |
| 教育相談室 世田谷分室 | 〇〇 〇〇 | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 | 個別面談(予定) |
| | | | |

3 家庭でのようす

| | |
|------------------------|--|
| 生活・健康 | <ul style="list-style-type: none"> ○ お子さんの好きなことや得意なこと ○ 身体上の必要な配慮点（発作・けいれんの有無など）や健康上の必要な配慮点（健康状態、服薬・アレルギーの有無など）など ○ 身体の動き・機能に関すること（車イス・補装具などの使用状況、歩行等動作、手指の動きなど） ○ 着替え・靴の履き替えなどの身支度（介助の有無）、トイレ（介助の有無） ○ 偏食の有無、食事の介助の有無、食事にかかる時間 などについて記入 |
| 人とのかかわり (コミュニケーション) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちとのかかわり方（どんな遊びをするか、どのように遊んでいるか など） ○ 模倣（まねっこ）ができるか ○ 声かけ ①言葉かけで十分伝わる ②紙に書いたほうがわかりやすい など ○ 意思疎通 ①ことばで意思疎通を図る ②身振り・指さしで意思疎通を図ることが多い など ○ 指示理解 ①全体の指示で理解できる ②個別の指示があるとよい など ○ 文字 ①ひらがなが読める ②自分の名前はひらがなが読める など ○ 体に触れられることを ①あまり気にしない ②少し気にする など |
| 必要な配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ お子さんがどうしても苦手なことや環境、情緒が不安定にならないための予防法、情緒が不安定になったときの効果的な対応方法など、学校生活において配慮が必要なこと ○ 通級（難聴、言語障害、弱視）に通う場合、または特別支援教室（すまいるルーム）を利用する場合は、曜日や時間など ○ 学校生活以外で支援が必要と思われる内容 （例）登下校、放課後の過ごし方、関係機関との連携など について記入してください。 |
| 本人・保護者の希望 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在・将来についての本人の希望 ○ 現在・将来についての保護者の願い ○ 学校教育に期待する教育内容、特にわが子に『つきたい力』 など （例）生活面（基本的な生活習慣・対人関係 など） 教科学習面（具体的に『つきたい力』 など） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ その他、書ききれなかったことやこれだけは伝えておきたいことなど、ご自由に記入してください。 |

※ 本シートに記載された事項は、就学される学校への引継ぎや就学後の支援等にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

就学支援シート②【就学前機関記入用】

※この用紙は記入後保護者にお戻しください。

1 子どもの名前

| | | | |
|--------|-------|------|--------------|
| 子どもの名前 | 〇〇 〇〇 | 生年月日 | 平成 〇〇年 〇月 〇日 |
|--------|-------|------|--------------|

2 作成者

| | | | | |
|-------|---------|----------------|-----|-------------|
| 就学前機関 | 機関名 | 〇〇〇〇 | 作成者 | 〇〇 〇〇 |
| | 連絡先(電話) | 〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) | 作成日 | R〇〇. 〇〇. 〇〇 |

3 就学前機関でのようす

| | |
|-----------------------|--|
| 生活・健康 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの好きなことや得意なこと ○ 身体上の必要な配慮点（発作・けいれんの有無など）や健康上の必要な配慮点（健康状態、服薬・アレルギーの有無など）など ○ 身体の動き・機能に関すること（車イス・補装具などの使用状況、歩行等動作、手指の動きなど） ○ 着替え・靴の履き替えなどの身支度（介助の有無）、トイレ（介助の有無） ○ 偏食の有無、食事の介助の有無、食事にかかる時間 などについて記入 |
| 人のかかわり (コミュニケーション) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちとのかかわり方（どんな遊びをするか、どのように遊んでいるか など） ○ 模倣（まねっこ）ができるか ○ 声かけ ①言葉かけで十分伝わる ②紙に書いたほうがわかりやすい など ○ 意思疎通 ①ことばで意思疎通を図る ②身振り・指さしで意思疎通を図ることが多い など ○ 指示理解 ①全体の指示で理解できる ②個別の指示があるとよい など ○ 文字 ①ひらがなが読める ②自分の名前はひらがなが読める など ○ 体に触れられることを ①あまり気にしない ②少し気にする など |
| 必要な配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもがどうしても苦手なことや環境、情緒が不安定にならないための予防法、情緒が不安定になったときの効果的な対応方法など、学校生活において配慮が必要なこと ○ 学校生活以外で支援が必要と思われる内容 (例) 登下校、放課後の過ごし方、関係機関との連携など について記入してください。 |

4 その他

3で書ききれなかったこと、または、これだけは伝えておきたいことなど、ご自由に記入してください。

また、登園～遊び・活動～食事～降園など、1日のスケジュールの中でどのような配慮が必要なのかをシミュレーションしていただくと、大変参考になります。

※ 本シートに記載された事項は、就学される学校への引継ぎや就学後の支援等にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。